# 東高瀬川の環境保護と地蔵盆プロジェクトの報告

龍谷大学・東高瀬川の環境保護と地蔵盆プロジェクトチーム

発表者：外山由利菜　河原響

You, Unlimited

龍谷大学

## これまでの一般的な地蔵盆風景

・地域社会の少子高齢化

↓

・子ども不在の地蔵盆

# 川久保町の地蔵盆
# (2015/8/23)

# 地蔵盆の会場は
# 東高瀬川の河岸

# 事業の目的

・伝統行事（地蔵盆）に学生が参加して、高齢者と児童の橋渡し役となり、地蔵盆を活性化させたい

・地蔵盆の会場となる東高瀬川河岸の清掃活動をとおして、環境問題を学ぶ

# 活動場所

# 事業の取組内容

1．地蔵盆行事の企画から参加して、準備・運営・実施に関わる

2．東高瀬川清掃活動から、実際の環境問題を学ぶ機会にする

3．地蔵盆のなかで「龍大コラボ(地域と協働事業)」を実施する

4．砂川地域恒例の河川清掃活動(11月)に参加する

5．活動から学んだ内容は、冊子を編集して地域の方に報告する

## 地蔵盆プログラム「龍大コラボ」の企画会議(2015.7.16)

## 東高瀬川清掃・草刈り活動(2015.8.11)

# 京都新聞に掲載！
# 2015.8.19朝刊

第38　2015年(平成27年)8月19日　水曜日　地域 18

市民版

## 地蔵盆運営 龍大生が一役

### 高齢化進む伏見・川久保町 22、23日

### 世代間交流目指す

京都市伏見区深草川久保町の住民たちが22、23日両日、近くの龍谷大の学生たちとともに地蔵盆を開く。若者が懸け橋となり、少子高齢化の進む地域のにぎわいづくりに一役買おうと意気込んでいる。

同町は133世帯が暮らし、高齢化率は30%近い。最近では子どもが減り、地蔵盆の開催が危ぶまれる年もあった。龍谷大ボランティア・NPO活動センターとの交流をきっかけに、今年は学生が地蔵盆の運営に協力することになった。

同大学短期大学部で社会福祉を専攻する1年生有志15人が、7月から住民と打ち合わせを重ねてきた。今月1日には地蔵盆でライトアップする町内を流れる東高瀬川の清掃にも参加した。

22日は正午から工作やダンス、ゲームなどのコーナーや夜店が並ぶほか、午後5時からは東高瀬川に竹灯籠約100個を浮かべて点灯式を行う。23日も午前9時から地蔵への供えや子ども抽選会があり、両日とも学生が住民を手助けする。

学生代表の寺元曜美さん(18)は「幅広い世代の交流の場を目指した。今月1日に地蔵盆でライトアップし、学生が地域活性の役に立てれば」と期待している。(今野麦)

地蔵盆当日にライトアップする東高瀬川を清掃する学生たち(11日、京都市伏見区)

# 地域の方々の声

- 清掃や草刈りに学生が加わることで、予定より早く終了することができ、たいへん助かった

- 川が綺麗になり、子どもたちが安全に川遊びができるようになった

# 川久保町だより 7月1日号に

・地蔵盆の予告

・「龍大コラボ」の企画を掲載

## 川久保町だより 第22号

平成27年7月1日
川久保町自治会発行

壇上に上がり写真を見てもらいながら発表する山本さん♪

### ≪ 龍谷大学短期大学生とのコラボレーション（協働）がスタートします！ ≫

龍谷大学から、実習授業の一環として取り組ませて欲しいとの申し出があり、今年から２年間、龍谷大学の学生に自治会活動へ参加していただくことになりました。

先日、自治会から５名（羽尻・藤代・加藤・山本・二又）が大学へ出向き、学生達に川久保町の現況や去年の地蔵盆の様子、東高瀬川の歴史と清掃活動、自治会の重要性等について講義を行いました。

加藤さんの講義を聴く学生たち

窪田先生と打ち合わせ

羽尻・山本・藤代・加藤さん
お疲れ様でした♪

今年の地蔵盆は、自治会と龍谷大学の学生さんが一緒になって企画運営を行います。去年行った竹灯籠や竹遊びのほか、大人も一緒に楽しめるイベントとして「流しそうめん」や昔懐かしい「畚（ふご）おろし」の復活も検討するようです。

今年は子供会と学生さんの自由な発想で新しい地蔵盆ができあがるかもしれません。皆さん楽しみにしていて下さい♪

また、色々とご協力頂く事も出てくると思いますが、よろしくお願いいたします。

**平成２７年度地蔵盆スケジュール**

７月 中旬　地蔵盆打ち合わせ
８月 ８ 日（土）　東高瀬川清掃
８月 22 日（土）　地蔵盆１日目
８月 23 日（日）　地蔵盆２日目

回覧

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

# 地蔵盆１日目（8月22日）

・流しそうめん
・龍大コラボ
・竹灯籠

## 龍大コラボ

- ○×ゲーム
- ビンゴゲーム
- ダンス

ビンゴゲーム

○×ゲーム

竹灯籠と花火

# 地蔵盆２日目（8月23日）

・数珠（じゅず）廻し

・畚（ふご）下ろし

お坊さんの
お参りと法話

数珠(じゅず)廻し

畚(ふご)下ろし

# 川久保町自治会「地蔵盆の住民アンケート」を実施

**平成 27 年度　川久保町地蔵盆を振り返って**

9 月後半から川久保町自治会の役員さんに振り返りアンケートを行いました。
その集計結果をご報告いたします。

**【学まちコラボに関して】**

＜良かった点＞
○学生さんに遊んでもらったり、色々教えて頂き、子供たちがとても楽しそうで良かったです。
○子供たちが親しみやすい学生さんにお手伝い頂けて良かったです。
○学生さんが加わる事で子供と大人の間の懸け橋になる事が出来たと思います。
○学生さんのお力で地蔵盆をけん引して頂いて感謝しています。
○地方の学生さんもおられ、地蔵盆という物を知ってもらえる良い機会になったと思います。
○準備や片付けに学生さんが加わって頂けて助けられました。
○高瀬川の草刈りは大勢来て下さり大変助かりました。
○年初には町内行事そのものの簡素化が声高に叫ばれており、地蔵盆行事も存続が危ぶまれる中、このような賑やかな地蔵盆を行う事が出来て良かったです。
○子供たちの表情が何よりの成果の結果だと思います。

＜改善点＞
○子供会の方々は準備などで大変だったのではないかと感じました。
○子供たちだけでなく、お年寄りの方、特に独居老人の方なども参加して頂き、話ができたらと思いました。
○当日、学生さんへの指示役、取りまとめ役が少なく、今何をしたらいいのか分からない学生さんが多かったように思います。今後は学生のリーダー(経験者)が数人いればと感じました。
○話し合いをする機会が少なく、準備が山本さん任せになってしまった。
○今年は新しい物を詰め込みすぎました。役員が変わっても無理なく継続が出来るように内容を見直す必要があります。
○草刈は約 2 時間の労働ゆえ冷たい飲み物が欲しかったです。

【今年の地蔵盆の内容】
＜良かった点＞
子供たちが楽しめるように趣向を凝らされていてよかったと思います。子供会さんありがとうございました。

# 地蔵盆を終えて

- 参加人数が昨年より増えた(住民アンケートより)
- 企画から参加したので達成感が得られた
- 子どもたちがとても楽しんでいた
- 企画会議やうち合わせをもっと多くする
- 高齢者のためのプログラムが少なかった

# 京都市立伏見工業高等学校 大下寛司教諭の講義

(2015.10.14)

## 砂川地域恒例　東高瀬川清掃活動
## （2015.11.11）

## 京都市長より表彰
## 「きょうと地域力アップ貢献事業者」
## （2015.11.15）

# 事業の成果

1．伝統行事の継承に貢献できた

→　地蔵盆参加者が増加した(住民アンケートより)

2．企画・準備・運営を通じた達成感

→　地域の方と交流や作業を重ねた結果の達成

3．学生が伝統行事の担い手になる

→　「東高瀬川と地域の歴史」を学び、伝統継承の意義を理解する

4．地域活性化は、地元への愛着になる

→　地域に誇りが持てると、地域コミュニティの崩壊を防ぐことができる

# 今後の課題と展望

1．橋渡し役を果たすことができたか？

→　「龍大コラボ」は子ども中心だった

2．子どもと高齢者をつなぐプログラムに

→　高齢者の知恵を生かした遊びや
ものづくりを考える
（ザリガニとり、折り紙、昔話など）

東高瀬川に
竹灯籠の
川久保町地蔵盆

# 参加学生の感想

・地域の人と関わる機会がないので、
盛りあがる行事が増えると楽しくなる

・京都の地蔵盆に参加でき、伝統文化に
ついて学ぶ機会になった

・地域の方から感謝されてうれしかった

RYUKOKU
UNIVERSITY

# ご静聴ありがとうございました